

# H3C iMC NTA/UBA

## NTA インターフェーストラフィック分析の設定例

ソフトウェアバージョン: iMC NTA7.3(E0503)

Copyright©2014-2017New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved.  
本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co., Ltd.の事前の書面による同意なしには、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。  
本ドキュメントの情報は、予告なく変更されることがあります。



## 内容

はじめに.....	1
前提条件.....	1
例:インターフェーストラフィック分析用の NetStream および NTA の設定 .....	1
ネットワーク構成 .....	1
使用されるソフトウェアバージョン.....	2
コアスイッチの設定 .....	2
NetStream モジュールの設定 .....	2
iMC NTA の設定 .....	3
設定の確認 .....	3
例:インターフェーストラフィック分析のための NetFlow および NTA の設定 .....	3
ネットワーク構成 .....	3
使用されるソフトウェアバージョン.....	3
ルータの設定 .....	4
iMC NTA の設定 .....	4
設定の確認 .....	4

# はじめに

このドキュメントでは、iMC NTA のインターフェーストラフィックを分析する例を示します。ネットワークトラフィックは、sFlow、NetStream、または NetFlow を使用して収集されます。

収集されたデータに基づいて、iMC NTA は次のタイプのログをサポートします。

- sFlow v5
- NetStream v5
- NetStream v9(H3C VPN、IPv4、および IPv6)
- IPFIX コマンド
- NetFlow v5
- NetFlow v9(Cisco Flexible NBAR)

## 前提条件

インターフェーストラフィック分析用に NTA を設定する前に、sFlow、NetStream、または NetFlow デバイスで次の SNMP パラメータを設定します。

- SNMP コミュニティ
- SNMP ポート番号

## 例:インターフェーストラフィック分析用の NetStream および NTA の設定

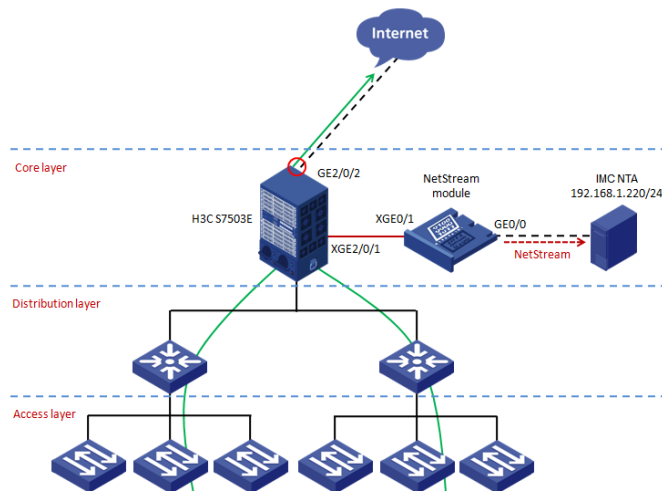
### ネットワーク構成

図 9 に示すように、H3C S7503E はコアスイッチです。GigabitEthernet2/0/2 を介してインターネットに接続され、内部インターフェース Ten-GigabitEthernet2/0/1 を介して NetStream モジュールに接続されます。iMC NTA は NetStream モジュールと通信します。

iMC NTA をトラフィックのモニタリングおよび分析に使用するには、次のタスクを実行します。

- H3C S7503E でローカルミラーリングを構成します。
- Ten-GigabitEthernet0/1 を介してトラフィック統計情報を収集および送信するように、NetStream モジュールを設定します。
- NetStream データを分析およびレポートするように iMC NTA を設定します。

図 9 ネットワーク図



## 使用されるソフトウェアバージョン

この設定例は、次のプラットフォームで作成および確認されています。

- H3C S7503E、H3C Comware ソフトウェア、バージョン 5.20、リリース 6708P08
- H3C SecBlade NetStream モジュール、H3C Comware Software、バージョン 5.20、リリース 3109P03

## コアスイッチの設定

#ローカルミラーリンググループ 1 を作成します。

```
<S7503E> system-view  
[S7503E] mirroring-group 1 local
```

#ローカルミラーリンググループ 1 の送信元ポートとして GigabitEthernet2/0/2 を、モニタポートとして Ten-GigabitEthernet2/0/1 を設定します。

```
[S7503E] mirroring-group 1 mirroring-port GigabitEthernet2/0/2 both  
[S7503E] mirroring-group 1 monitor-port Ten-GigabitEthernet 2/0/1
```

## NetStreamモジュールの設定

#Ten-GigabitEthernet0/1 上の着信トラフィックに対して NetStream をイネーブルにします。

```
[NS] system-view  
[NS] interface Ten-GigabitEthernet0/1  
[NS-Ten-GigabitEthernet0/1] ip netstream inbound  
[NS-Ten-GigabitEthernet0/1] quit
```

#NetStream データエクスポートのホストとして、iMC NTA の IP アドレスとリスニングポートを指定します。

```
[NS] ip netstream export host 192.168.1.220 9020
```

#NetStream データをバージョン 9 形式でエクスポートするか、この手順をスキップしてデフォルトの NetStream データエクスポート形式バージョン 5 を使用します。

## iMC NTAの設定

設定手順については、「iMC NTA の設定」を参照してください。

## 設定の確認

設定手順については、「設定の確認」を参照してください。

# 例: インターフェーストラフィック分析のための NetFlow および NTA の設定

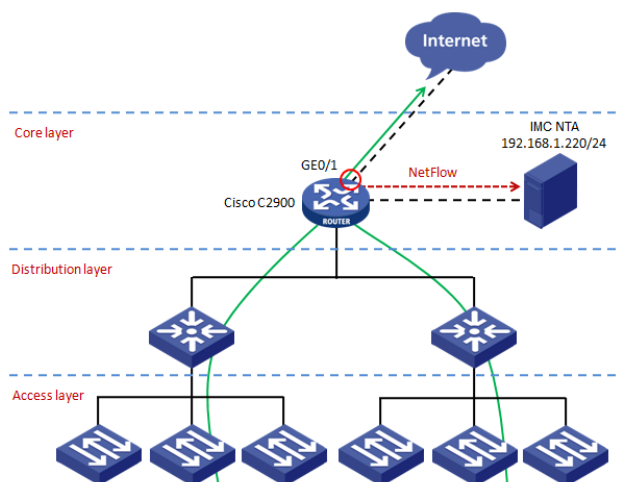
## ネットワーク構成

図 10 に示すように、出ルータ Cisco C2900 は GigabitEthernet0/1 を介してインターネットに接続されています。

iMC NTA をトラフィックのモニタリングおよび分析に使用するには、次のタスクを実行します。

- GigabitEthernet0/1 を介してトラフィック統計情報を収集および送信するように、Cisco C2900 上で NetFlow を設定します。
- NetFlow データを分析およびレポートするように iMC NTA を設定します。

図 10 ネットワーク図



## 使用されるソフトウェアバージョン

この設定例は、Cisco C2900、Cisco IOS ソフトウェア、C2900 ソフトウェア(C2900-UNIVERSALK9-M)、バージョン 15.1(4)M2、RELEASE SOFTWARE(fc1)で作成および検証されています。

# ルータの設定

#GigabitEthernet0/1 で NetFlow をイネーブルにします。

```
Router#config
```

```
Router(config)#interface GigabitEthernet0/1
```

```
Router(config-if)#ip flow ingress
```

```
Router(config-if)#ip flow egress
```

```
Router(config-if)#exit
```

#NetFlow データエクスポートのホストとして、iMC NTA の IP アドレスおよびリスニングポートを指定します。

```
Router(config)#ip flow-export destination 192.168.1.220 9020
```

# iMC NTAの設定

設定手順については、「iMC NTA の設定」を参照してください。

# 設定の確認

設定手順については、「設定の確認」を参照してください。